

がんばろう！商店街事業 - 第2弾 -

事業者情報

【商工会、商工会議所及びそれらの連合組織の場合】

事業者名（代表事業者）	●●●商店街振興組合
該当事業者名 ※連携応募の場合のみ	●●●市商工会議所

1) 法人名 ※履歴事項全部証明書に記載の組織の正式名称（商号）を記入してください。

●●●市商工会議所

2) 法人の設立年月日

●●●●年 ●月 ●日

3) 過去の「がんばろう！商店街事業（旧：Go To 商店街事業）」への申請・採択状況

① 申請及び審査結果 ※連携で申請した場合も含む。

●●月●●日申請（先行募集）⇒ 不採択
 ●●月●●日申請（通常募集）⇒ 採択

② 実施結果 ※採択された事業者のみ

事務局との契約締結時に計画していた4つのイベントのうち、1事業（●●●マルシェ事業）については全日程で予定通り実施できたが、残りの3事業（●●●スタンプラリー事業、まちゼミ事業、●●●事業、●●●事業）については、緊急事態宣言に伴い、事務局から「請負業務中止決定通知書」が通知され、全日程の開催を中止した。

4) 支援を受ける地方公共団体

●●●市

5) 支援対象区域の概況

① 支援対象区域の特徴（立地環境や来街者等）

●●●市に所在する●●●商店街を支援対象区域とする。
 ●●●商店街は●●●駅から●●m・徒歩●●分に位置する、●●●市の玄関口ともいえる中心的な商店街である。商店街は飲食店●●店舗、物販店●●店舗（日用雑貨品店●●店舗、薬局●●店舗、服飾店●●店舗）、サービス店●●店舗（マッサージ店●●店舗、ネイル店●●店舗）等、計●●●店舗で構成されており、創業●●●年の和菓子屋等も残るなど、昔ながらの地域住民密着型の商店街である。来街者の多くは●●●であり、●●●を●●●である。また、駅の近くに位置することから、平日には通勤・通学者によりサラリーマンや学生等も多く訪れているが、学校・仕事が休みになる土日祝日には人通りが途絶えてしまう傾向にあり、休日の来街者確保が課題となっている。

② 支援対象区域が抱える課題

●●●商店街は、地域住民への情報発信について、昔から紙媒体での告知が主で、デジタル化に対応できていない状況であり、地域住民へ商店街の魅力を十分に発信できていない。その結果、商店街を訪れる顧客は●●年前と比較して約●●●%減少しており、特に若者が訪れる機会が減っている。
 商店街の魅力を、●●●を使い発信することによって、新たな顧客である若者をいかに商店街に呼び込むことができるかが本商店街の最大の課題となっている。

③ 支援対象区域で現在取り組んでいる事業や将来のビジョン

●●商店街は、四季に応じて様々なイベントを実施しており、夏には「●●商店街夏祭り」、冬には「●●商店街年末祭」等を開催している。また、子どもたちから商店街に慣れ親しんでもらうため、近隣の小学校と各商店で連携し、小学生の職業体験についても積極的に取り組んでおり、各イベント開催時には多くの方々が訪れるが、恒常的な来街者増にはつながっていない状況にある。

このような状況を踏まえて、●●年に●●の協力のもと、●●商店街再生プロジェクトチームを結成。今まで取り組んできた地域とのつながりを生かしつつ、新規顧客を呼ぶための情報発信活動を若手中心に推進しており、地域外への周知も試みている。将来的には、恒常的な来街者増につなげ、●●な商店街になることを目標としている。

④ 支援対象区域に求められている役割、ニーズ等

●●に実施した地域住民をターゲットとしたアンケート調査の結果、●●商店街に求められているニーズについて、●●などの、本商店街ならではの●●であるという結果が分かった。また、地元学生の協力を得て実施した●●会議において、「●●商店街の10年後」をテーマにディスカッションした結果、●●を今後どのようにして次の時代に残していくかという課題が新たに見つかった。

<宣誓・同意事項> ※本書類の提出をもって宣誓事項に同意したものといたします。

- ・ 本事業への応募について、組織内で合意形成が図れていることを確約いたします。

※連携応募の場合、全ての事業者分について、それぞれ提出が必要です。

※別添の記入例をご参照のうえ、ご記入をお願いいたします。